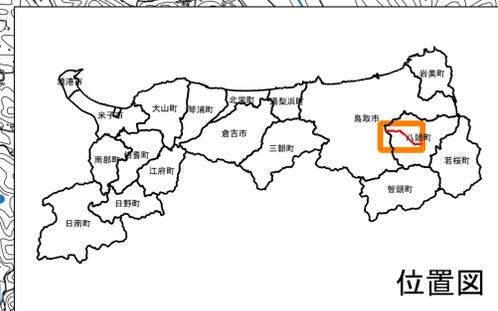
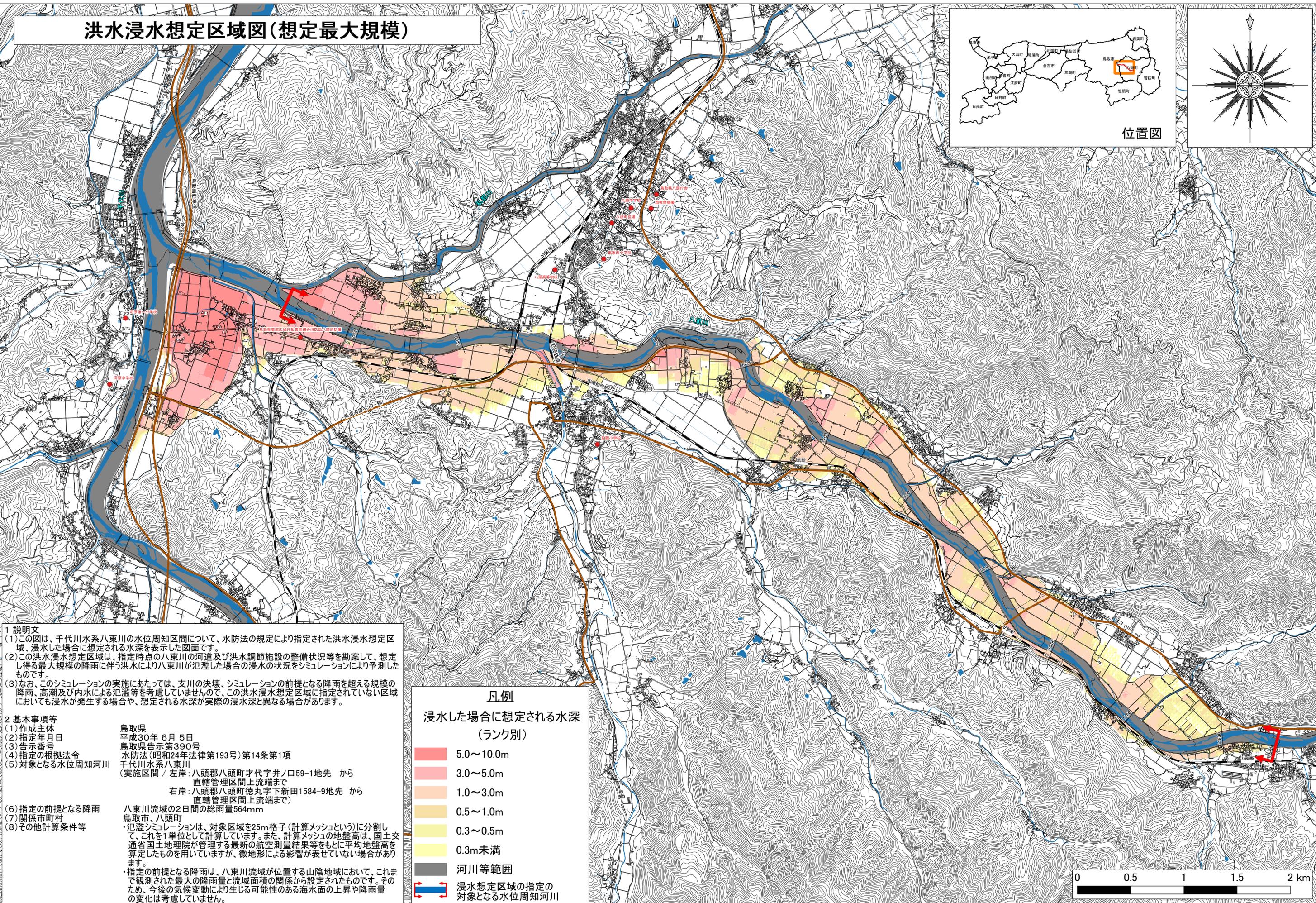
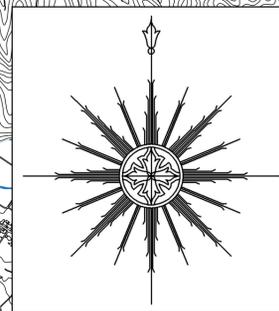


洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



位置図



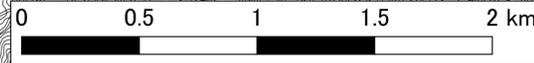
1 説明文
 (1)この図は、千代川水系八東川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2)この洪水浸水想定区域は、指定時点の八東川の河道及び洪水調節施設の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により八東川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体 鳥取県
 (2)指定年月日 平成30年 6月 5日
 (3)告示番号 鳥取県告示第390号
 (4)指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 (5)対象となる水位周知河川 千代川水系八東川
 (実施区間 / 左岸: 八頭郡八頭町才代字井ノ口59-1地先 から 直轄管理区間上流端まで
 右岸: 八頭郡八頭町徳丸字下新田1584-9地先 から 直轄管理区間上流端まで)
 (6)指定の前提となる降雨 八東川流域の2日間の総雨量564mm
 (7)関係市町村 鳥取市、八頭町
 (8)その他計算条件等
 ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをしていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 ・指定の前提となる降雨は、八東川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

	5.0~10.0m
	3.0~5.0m
	1.0~3.0m
	0.5~1.0m
	0.3~0.5m
	0.3m未満
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



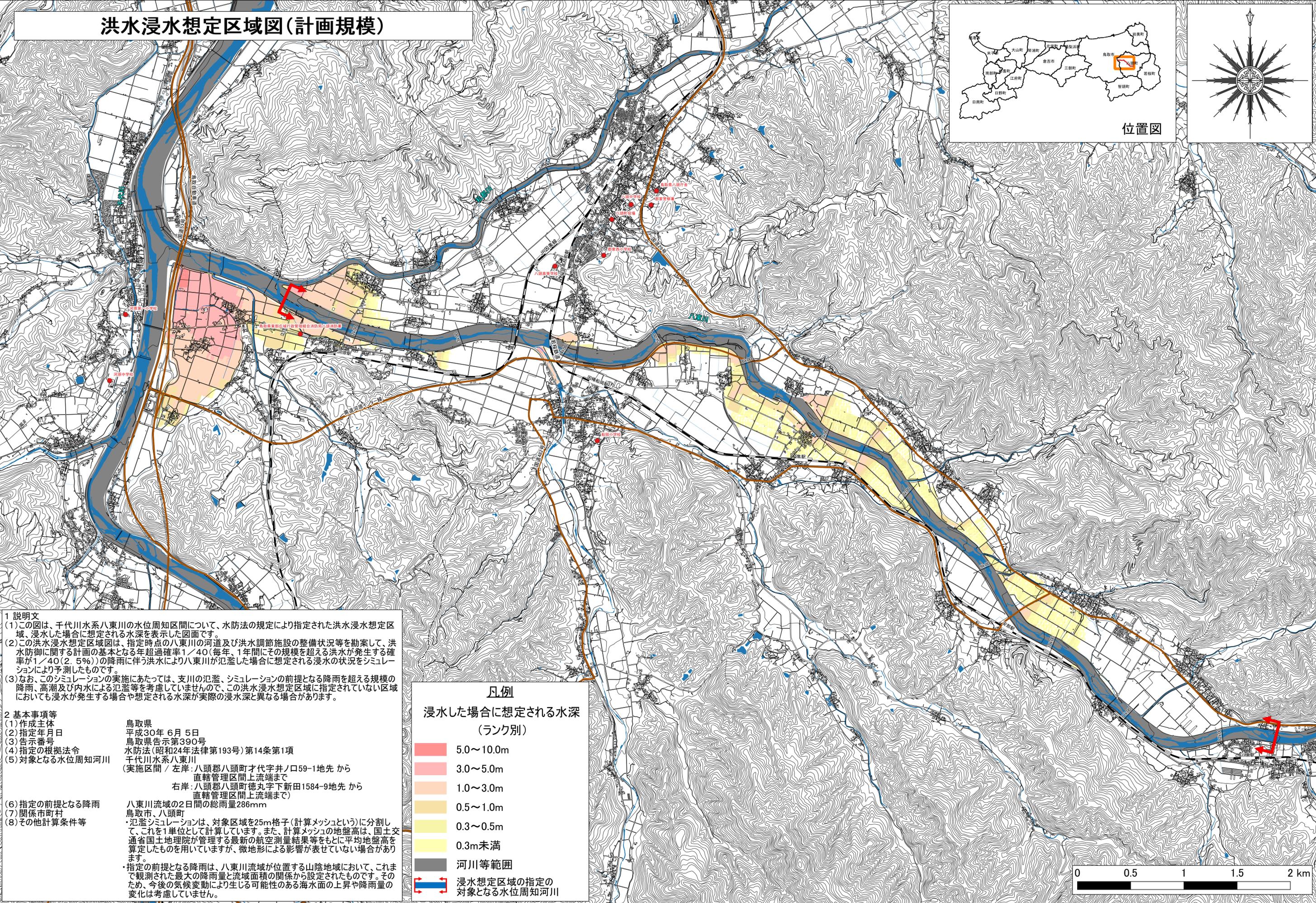
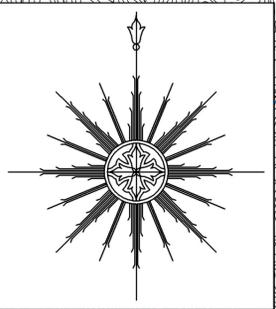
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第226号)

※A1出力時:1/15000, A3出力時:1/30000

洪水浸水想定区域図(計画規模)



位置図

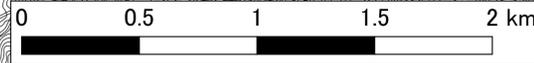


1 説明文
(1)この図は、千代川水系八東川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2)この洪水浸水想定区域図は、指定時点の八東川の河道及び洪水調節施設の整備状況等を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる年超過確率1/40(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/40(2.5%))の降雨に伴う洪水により八東川が氾濫した場合に想定される浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

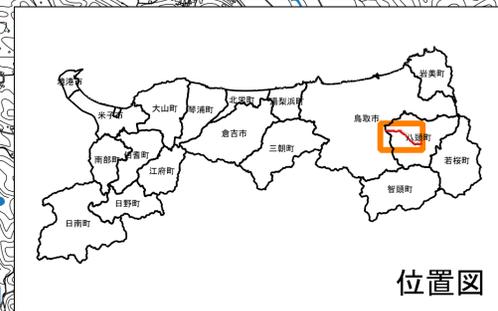
2 基本事項等
(1)作成主体 鳥取県
(2)指定年月日 平成30年6月5日
(3)告示番号 鳥取県告示第390号
(4)指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
(5)対象となる水位周知河川 千代川水系八東川
(実施区間 / 左岸:八頭郡八頭町才代字井ノ口59-1地先 から直轄管理区間上流端まで
右岸:八頭郡八頭町徳丸字下新田1584-9地先 から直轄管理区間上流端まで)

(6)指定の前提となる降雨 八東川流域の2日間の総雨量286mm
(7)関係市町村 鳥取市、八頭町
(8)その他計算条件等 ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをしていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
・指定の前提となる降雨は、八東川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

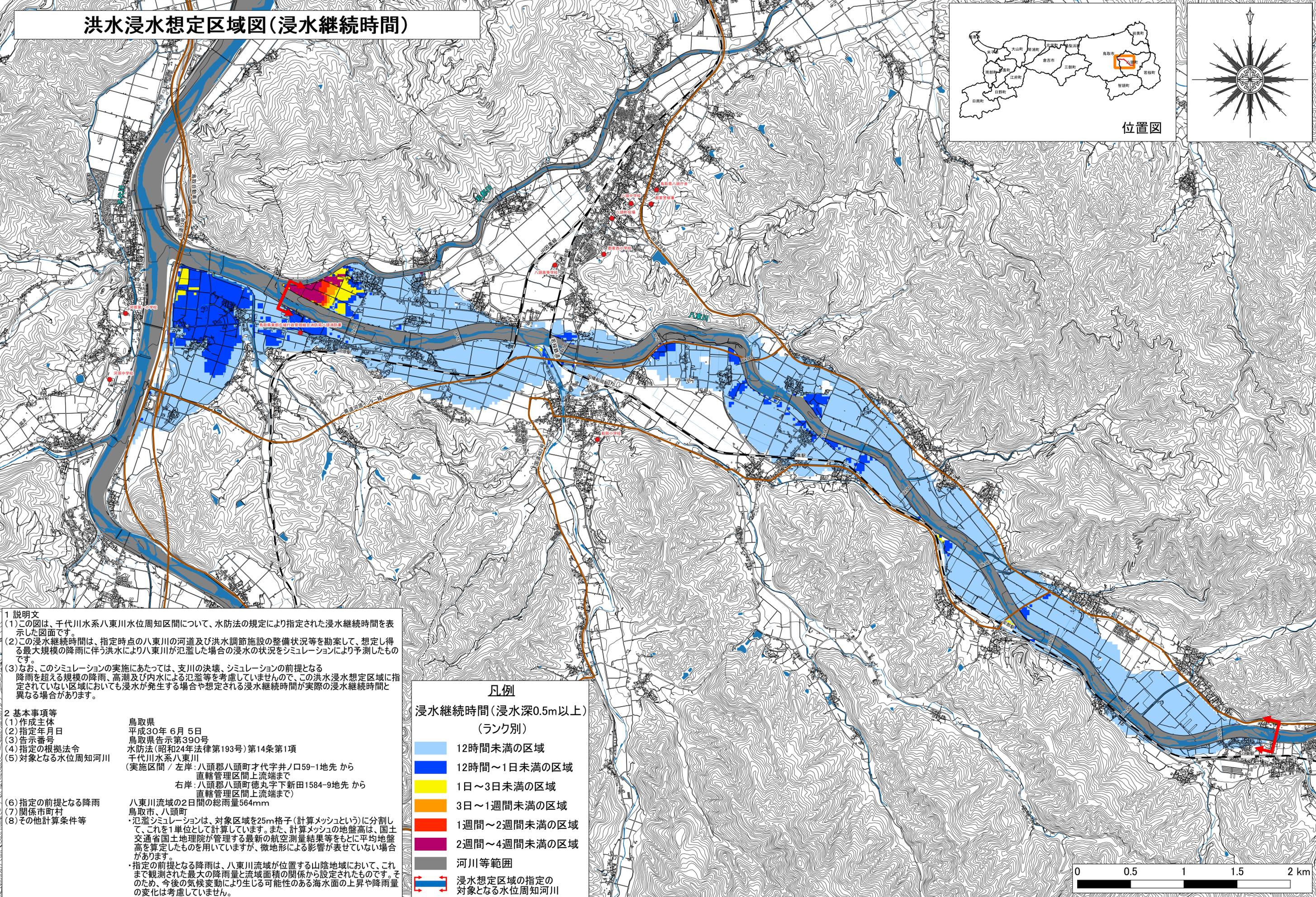
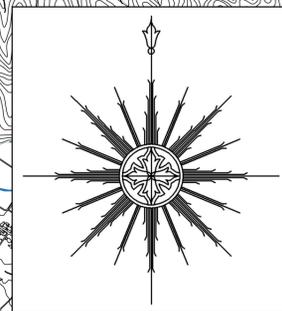
凡例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
	5.0~10.0m
	3.0~5.0m
	1.0~3.0m
	0.5~1.0m
	0.3~0.5m
	0.3m未満
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



位置図



1 説明文
 (1)この図は、千代川水系八東川水位周知区間について、水防法の規定により指定された浸水継続時間を表示した図面です。
 (2)この浸水継続時間は、指定時点の八東川の河道及び洪水調節施設の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により八東川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合があります。

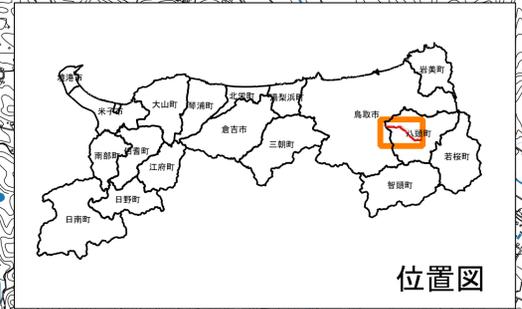
2 基本事項等
 (1)作成主体 鳥取県
 (2)指定年月日 平成30年 6月 5日
 (3)告示番号 鳥取県告示第390号
 (4)指定の根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
 (5)対象となる水位周知河川 千代川水系八東川
 (実施区間 / 左岸:八頭郡八頭町才代字井ノ口59-1地先 から 直轄管理区間上流端まで
 右岸:八頭郡八頭町徳丸字下新田1584-9地先 から 直轄管理区間上流端まで)
 (6)指定の前提となる降雨 八東川流域の2日間の総雨量564mm
 (7)関係市町村 鳥取市、八頭町
 (8)その他計算条件等
 ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをしていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 ・指定の前提となる降雨は、八東川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海水面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例
 浸水継続時間(浸水深0.5m以上)
 (ランク別)

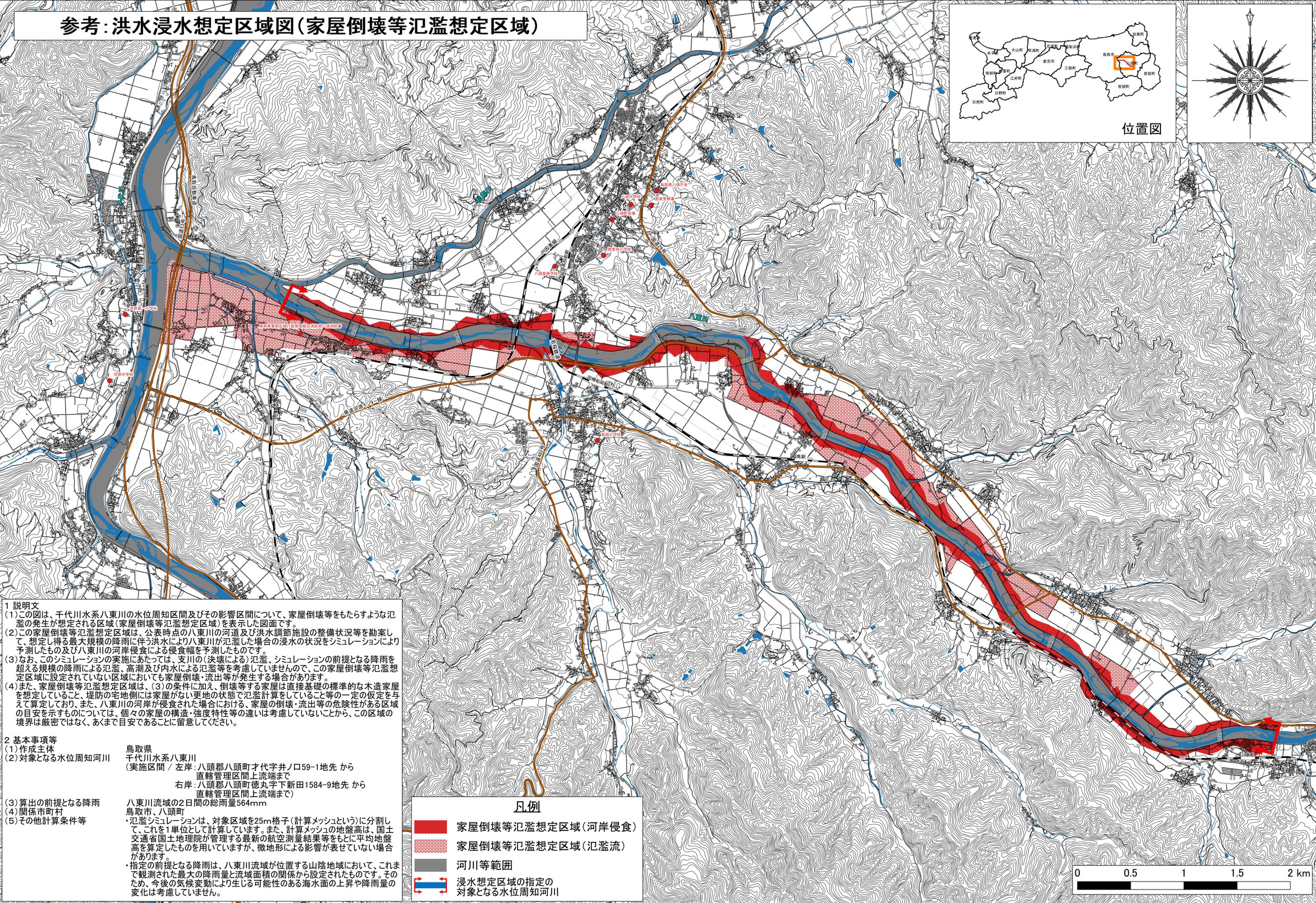
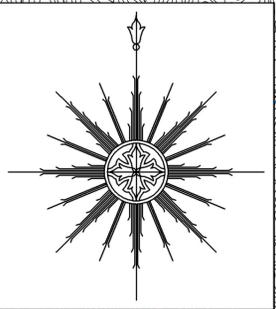
	12時間未満の区域
	12時間～1日未満の区域
	1日～3日未満の区域
	3日～1週間未満の区域
	1週間～2週間未満の区域
	2週間～4週間未満の区域
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



参考：洪水浸水想定区域図(家屋倒壊等氾濫想定区域)



位置図



1 説明文

(1)この図は、千代川水系八東川の水位周知区間及びその影響区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)を表示した図面です。

(2)この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の八東川の河道及び洪水調節施設の整備状況等を勘案して、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水により八東川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものと八東川の河岸侵食による侵食幅を予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

(4)また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、(3)の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算をしていること等の一定の仮定を与えて算定しており、また、八東川の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものについては、個々の家屋の構造・強度特性等の違いは考慮していないことから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意してください。

2 基本事項等

(1)作成主体 鳥取県

(2)対象となる水位周知河川 千代川水系八東川
(実施区間 / 左岸:八頭郡八頭町才代字井ノ口59-1地先 から 直轄管理区間上流端まで
右岸:八頭郡八頭町徳丸字下新田1584-9地先 から 直轄管理区間上流端まで)

(3)算出の前提となる降雨 八東川流域の2日間の総雨量564mm

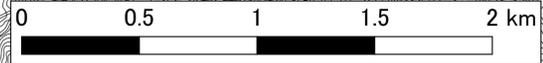
(4)関係市町村 鳥取市、八頭町

(5)その他計算条件等

- ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものを採用していますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
- ・指定の前提となる降雨は、八東川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

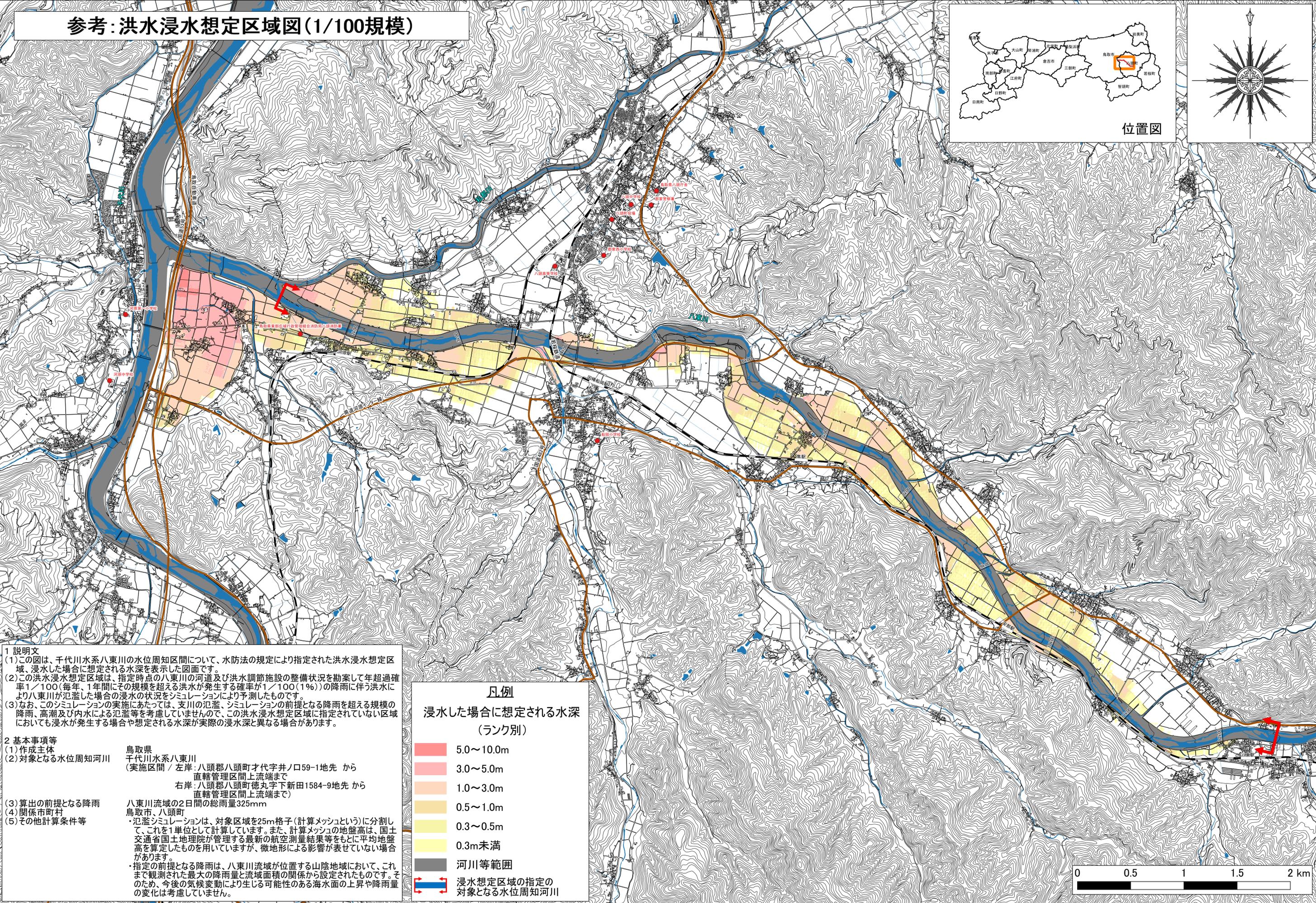
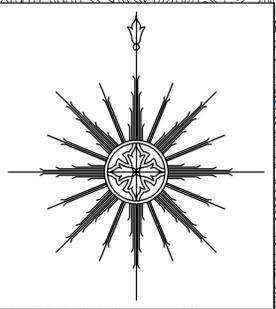
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
- 河川等範囲
- 浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



参考：洪水浸水想定区域図(1/100規模)



位置図

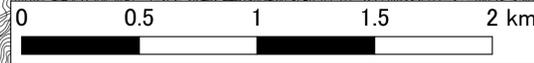


1 説明文
(1)この図は、千代川水系八東川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
(2)この洪水浸水想定区域は、指定時点の八東川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して年超過確率1/100(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100(1%))の降雨に伴う洪水により八東川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

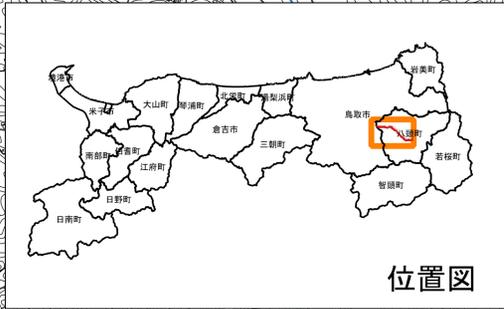
2 基本事項等
(1)作成主体 鳥取県
(2)対象となる水位周知河川 千代川水系八東川
(実施区間 / 左岸:八頭郡八頭町才代字井ノ口59-1地先 から直轄管理区間上流端まで
右岸:八頭郡八頭町徳丸字下新田1584-9地先 から直轄管理区間上流端まで)

(3)算出の前提となる降雨 八東川流域の2日間の総雨量325mm
(4)関係市町村 鳥取市、八頭町
(5)その他計算条件等
・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをしていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
・指定の前提となる降雨は、八東川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

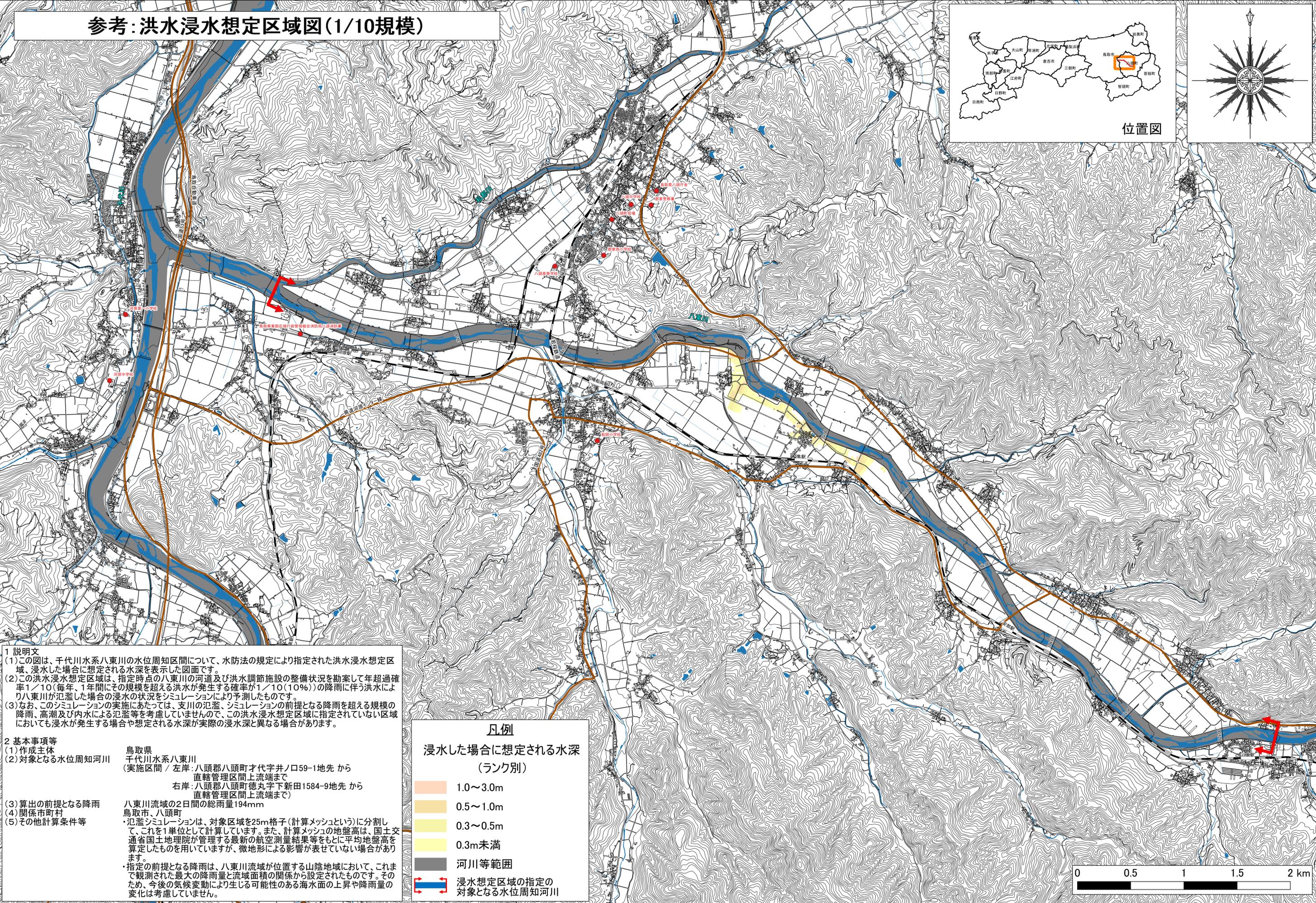
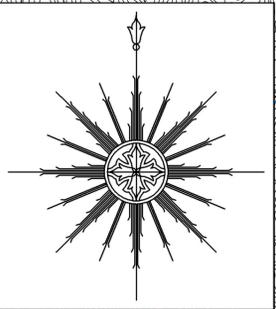
凡例	
浸水した場合に想定される水深 (ランク別)	
	5.0~10.0m
	3.0~5.0m
	1.0~3.0m
	0.5~1.0m
	0.3~0.5m
	0.3m未満
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川



参考：洪水浸水想定区域図(1/10規模)



位置図



1 説明文
 (1)この図は、千代川水系八東川の水位周知区間について、水防法の規定により指定された洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
 (2)この洪水浸水想定区域は、指定時点の八東川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して年超過確率1/10(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10(10%))の降雨に伴う洪水により八東川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
 (3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等
 (1)作成主体 鳥取県
 (2)対象となる水位周知河川 千代川水系八東川
 (実施区間 / 左岸:八頭郡八頭町才代字井ノ口59-1地先 から直轄管理区間上流端まで
 右岸:八頭郡八頭町徳丸字下新田1584-9地先 から直轄管理区間上流端まで)

(3)算出の前提となる降雨 八東川流域の2日間の総雨量194mm
 (4)関係市町村 鳥取市、八頭町
 (5)その他計算条件等
 ・氾濫シミュレーションは、対象区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、国土交通省国土地理院が管理する最新の航空測量結果等をもとに平均地盤高を算定したものをしていますが、微地形による影響が表せていない場合があります。
 ・指定の前提となる降雨は、八東川流域が位置する山陰地域において、これまで観測された最大の降雨量と流域面積の関係から設定されたものです。そのため、今後の気候変動により生じる可能性のある海面の上昇や降雨量の変化は考慮していません。

凡例

浸水した場合に想定される水深
(ランク別)

	1.0~3.0m
	0.5~1.0m
	0.3~0.5m
	0.3m未満
	河川等範囲
	浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

